

第2回 Harima Blue One 友の会 会報

【実施日】

平成27年2月18日（土）14:00～16:40

【会場】

加古川西市民病院 別館6階 講義室

【実施内容】

- 永田医師による情報提供（20分）
- 1型糖尿病患者の体験談（30分）
- フリーディスカッション（90分）

【参加者】

患者さん 20名

ご家族・ご友人 7名

医療従事者 18名

医療情報担当者 7名

合計 52名

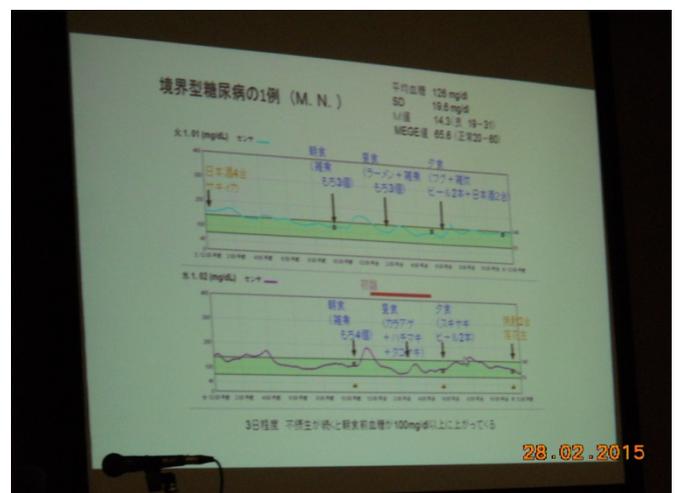


永田医師による情報提供

1型糖尿病の最先端の治療についての情報提供でした。

インスリンポンプ（超速効型インスリンを使用して持続的に基礎インスリンを供給し、食前に追加インスリンを投与することにより、生理的にインスリン投与を行うインスリン療法）にリアルタイムのCGM（連続的に血糖測定を行う）機能を搭載したシステムがこの春から使用できるようになりました。

最も適したインスリンの量の決定と高血糖や低血糖を回避してよりよい血糖コントロールが期待されます。



1 型糖尿病患者の体験談

1型糖尿病患者であり、ノボノルディスクファーマ株式会社でMR（医療情報担当者）として、ご勤務されておられる 寺分 雅人さんに体験談をお話しいただきました。

学生時代に発症しインスリン治療もまだまだトラブル続きの時代に努力され、とても立派に1型糖尿病に向き合われてる寺分さんからのメッセージは“もっと積極的に何でも取り組んでおればよかった”とのことでした。

医師やスタッフの話と違ってとても分かり易く“同じ悩みを持つ貴重な話がうかがえてよかった。少し気持ちが楽になった。今後の人生に希望を持って生きていきたい。”などと参加者より多くの共感と感謝のご意見をいただきました。



フリーディスカッション

テーマ別に5～10人ずつのグループに分かれ、ディスカッションを行いました。

- ②恋愛・結婚・出産のグループは出産経験者の方が娘さんと一緒に参加されていて楽しい女子会となりました。
- ④インスリンポンプのグループはこれからインスリンポンプの治療をやってみたいと思われる方がお風呂の時にどのようにされているのか？等の日常の些細な質問をされていました。
- ⑤カーボカウントのグループはカーボカウントされてない方が意外に多くびっくりされていました。
- ⑦フリーのグループは各々の低血糖発作の対応について情報交換されていました。

